

離島甲子園を終えて

対馬ヤマネコボーズ 西山星也

今までは島内で敵だ。た友が、対馬ヤマネコボーズのユニフォームを着て、共に優勝を目指す仲間となりました。初めは仲良くできるか、レギュラーになれるかなど、いろいろな心配がありました。話をしてみるところでもおもしろくて、いい人たちばかりでした。大会の前日はあまりお疲れませんでした。

一回戦は大島町選抜の伊豆大島選抜チームと戦いました。ぼくはスターティングメンバーには選ばれませんでしたが、試合の途中から出場しました。一打席しかまわってきませんでしたが、ぼくはその一打席でヒットを打つ事が出来ました。相手も優勝を目指しているのですが、簡単には勝たせてはくれませんでした。結果は4対3で勝利をすることができ、とてもうれしかったです。続く二回戦は、屋久島町選抜の屋久島選抜チームと戦いました。

ぼくはスタセティングメンバーに選ばれ、七番セカンドで試合に出場しました。一、二打席目に三振をしまして、ちよつとおちこんでいました。その時チームメイトから、次は絶対打てよと言われ、よし、次は絶対打つぞという気持ちでいました。六回が終わると、時間でタイムブレイクになりました。二対二の同点、ノーアウト満塁でバッターはぼくでした。すぐ追い込まれて、ふてぶてを見るときみんながぼくにすごい声援をおくっていました。

た。絶対打てやるという思いで、バットを振りました。結果セフター前ピットが打てても大きながツポーズをしました。その試合は8対5で勝ちました。三回戦は久米島町選抜の久米島イーグルスと戦いました。結果はおしくも1対2で敗れましたが、とてもいい試合でした。ぼくはこの離島甲子島で、対馬ヤマネコボーイズの仲間との絆を深める事が出来ました。ぼくはこの大会で何か大切な事を学べたと思います。この大会に参加し

て良かったと思います。次は高校生になっ
て
甲子園に出場したいです。

今回、全国離島交流中学生野球大会に村馬代表として初めて参加しました。初日に組み合わせ抽選会が行われ、一試合目に伊豆大島選抜とあたりました。この試合では初回から点をとり勝つことができました。そして2試合目は屋久島選抜として延長戦までいき、勝つことができませんでした。20日の3試合目は久米島イーグルスとして逆点され負けをしまいました。僕は一回も出ることはできませんでした。離島でも、21日のまさかりドリムスと離

島選抜チームとの試合で村馬の中から選ばれた試合に出れるチャンスがきました。ですが、残念ながら雨で中止になり、試合に出られませんでした。試合がなくなり、体育館で野球教室をし、基本のことでいろいろ教えてもらいました。走り方やキャッチボールの仕方、内野手と外野手にわかれて教えてもらいました。とてもいい勉強になりました。これから練習の時などは心がけていきたいです。そして、さよならパーティーで、お楽しみ会をしました。

んの離島の選手たちといれあえてとても楽し
かったです。このまうは全国の離島中学生が
集まり試合をするこはめ。たにはないことな
のでとてもいい経験になりました。これから
も野球を続けて、高校でも野球をしたいと思
っているので、日々の練習をがんばっていき
たいです。

村島ヤマエコボイズ

阿比留 大吾

第四回離島交流中学生野球大会を終えて

阿比留 晃太

僕は今回、愛媛県の上島で開催された第四回離島甲子園に対馬やまねこボーイズとして対馬市代表として出場しました。

一日目の抽選会では、全国から約九千一人来ていて、野球球児たちの多さに驚きました。抽選では、一回戦は、東京都の伊豆大島で二回戦は、鹿児島県の屋久島でした。

大会当日、僕は試合に出られるかという不

安と緊張でいっぱいでした。それから一回戦の伊豆大島戦でのオータ発表で、残念ながら僕の石前は呼ばれませんでした。とてもショックでした。スタメンの選手たちのヤブイトをしっかりとしようと心の中で強く思いました。そして一、二回戦と勝ち進み三回戦の久米島戦でも僕の名前は呼ばれませんでした。そして、グラウンドに立てずに、一対二で敗けてしまいました。とても悔しかったのですがまだ、高校でもキャプテンはあると前向きに考え

ました。
三日目は、決勝戦が雨のため中止になりました。
まさかりドリムズとの試合も中止となりました。
ので、とても残念でした。その後、野球教室
があり元プロ野球選手からキャッチボールや
走塁の基礎などを教えてもらいました。とても
良い経験となりました。その後には、お別れ
パーティーがあり、たくさんの方のチームの選手
たちと仲良くなり交流の輪を深めることがで
きました。

今回この大会を通して、離島同士の交流を
深めると、最後まであきらめない強い気持ち
を知り、多くのことを経験することができ
ました。試合には出場することはできず、
悔しい思いをしましたが、この思いを忘れず
に、これからから中学校生活、高校生活を充実
したものにしていきたいと思えます。

離島交流

ゆん

幸佐

ぼくは、離島交流で、いろいろなことを学んで
 ました。特に、カーブのときは、ライト方面
 には、かり打っていったけど、ぼくは、カーブが
 スローインが、りとまは、ライトの方向に打つこと
 を考え、ていなかっただよ、ライクになつた、
 たよ、こは、バットを短く持つていて、ブンバ
 ン振るんじやなく、ミットしていたことや
 速いピッチャーなども、バットを短く持つて

いたし、速いピッチャーでも、ボールをこ
 がしてエライをさせる、ていたのが、すい
 し、声も、自分の声が、かほるくらいまで、
 を、かして、たのが、すい、た。

離島甲子園を終えて

対馬ヤマネコボーイズ 小田剛士

今回の大会ではいまままで、ちがう学校の知らない人と同じチームになるので、みんなとよかよくなれるか少し不安だったけれど、おもったよりみんなをなじめたりでよかったです。

大会の開会式でいつもの対馬の大会をいらい五チームぐらいだけと今回の大会では19チームもいたのでおどろきました。

大会の一日目は伊豆大島選抜と屋久島と試合をしました。両方ともぎりぎりひかきました。

大会の二日目では久米島イーグルスにまけてしまいました。

僕は試合にでれずにまったくやくにはたてなかったけれど、色んな人と交流したりできて、とても自分のためになりました。

離島甲子園

三年

岡村

康太

ぼくは、この第四回全国離島中学生野球大会に参加して、たくさんの思い出と経験ができました。

まず、この大会でできた思い出は、日頃は違うチームで戦っていたライバル達と初めてチームを組んで戦えたことです。

この対馬やマネコボーイズでの合同練習は、一回しか出きなかった。なので不安もあった。たけ

ど、本番では、試合をするたびに、だんだんチームワークも良くなってきて、試合をするのが、一試合、一試合楽しくなってきました。ぼく達、対馬やマネコボーイズは、一回戦で、東京・大島町の伊豆大島選抜チームと戦い、4対3で勝利しましたが、相手も手強く、課題の残る試合でした。自分自身も4番としての活躍が出来ず、悔しい結果に終わったので、次の2回戦の相手、鹿児島・屋久島町の屋久島選抜との戦い

では、絶対チームの力になるうと思っ
と挑みました。2点ビーンで向かえた、中盤での打席、ノリアウトのランナーを一塁に置き、反撃のチャンス、打席に入る前、コーチから言われた一言「逆方向を狙え」この言葉を頭で繰り返しながら打席で球を待った、そしてぼくの打った球は、左バスターなので、左前へ、レフトがボールを後へ送る間、一点が入りぼくも三塁へ、続く打者が犠牲フライを打ち同点、試合はタイブレークになり、

ぼく達は、ヒットやファイルドピッチなどで一挙六点を挙げ8対5で勝利しました。
次の日の進々決勝、相手は沖縄・久米島町の久米島イーグルスとの試合、この試合は、2対1で負けるのですが、この試合ぼくは悔いの残る場面があります、それは、の行進が続いていたらもうラに一点を先制した後、ここで、一点を取り、なおもランナー三塁の場面で、ボクが中途半端なスイングで三振してしまっただけです。もしアウトになっ

ても、思いきり振れば良かったという悔しさ
が残っています。この悔しさをこの先の野球
人生に生かしていこうと思います。
ぼくが今大会で一番印象に残っている試合
は、屋久島戦です。その分けは、久米島に負
けた日の夕食の時みんなチークワイクの話
しをしてくれました。チームワークとは慰め
あったり、励ましたりするのがチームワ
イクではなく、一人一人がその時自分に生き
ることを必死にやって初めてチームワークが

出るといふ話しを聞いて、屋久島戦がまさに
、それだなと思っただけです。
この第四回離島甲子園に参加させていただけ
き本当に良かったです。本当にありがとうございました。
ございました。

終あり

離島甲子園で学んだこと

児玉浩太郎

僕は、今回の全国離島交流中学生野球大会
に對馬ヤマネコボーイズの選手として、参加
させてもらいました。この大会で僕は、出場
の機会に恵まれず、三塁コーチや出場選
手の世話などをがんばりました。試合に出る
ことはできませんでしたが、僕はこの大会を
通してたくさんのことを学び、とてもいい経
験ができたと思います。

今回の大会で一番学んだことは、野球に對
する考え方が変わったことです。全国の様々
なチームを見て選手と交流する中で、新たな
発見があり、野球に對して新しい考え方がで
きるようになりました。

野球教室では元プロ野球選手に指導してい
ただきました。とても有名な選手ばかりで僕
は少し緊張しましたが、たくさんのお話を学
びました。僕も外野手の指導を受けました。
とてもいい経験になりました。これらの学ん

だことをこれから野球人生にいかしていき
たいと思います。

もう一つの大きな学びは、人との交流です。
この大会でチームメイトとはもちろん、他の
島のチームとも交流を深めることができまし
た。話もたくさんできてとても楽しかったで
す。交流を通して日本にはいろいろな離島が
あることがわかり、どういった島かというこ
ともわかりました。ここで知り合った仲間と
いつかまたどこかで再会できる日を楽しみに

していません。

このような学びの多い大会に参加させてい
ただき、監督コーチ・市役所の方など、こ
の大会に関わってくださった方々に感謝して
います。この大会を通して学んだ貴重な経験
は、一生の思い出になります。今度は高校で
本当の甲子園をめざして、野球にもっと真剣
に取り組もうと思いました。

離島甲子園

対馬ヤマネコボーイズ主将 春田 龍馬

ぼくは、この離島甲子園で色々なことを学

び、そして経験しました。最初、組み合わせ

抽選会の際に主将のでかさにビツクリしまし

た。でも、それで負けないうと、うん、持ちこ

なりました。抽選会では、とても緊張しまし

た。そして、色々なチームと会話を弾ませる

ことができました。そして、宿舎に戻り、自

分のチームで楽しく過ごしました。開会式で

は、村田兆治さんの話をきいて、とても深く

感じました。試合では、伊豆大島戦。しっか

りと声を出して、相手に威圧感を与えること

ができました。屋久島戦。最初に先制点をと

られ、あせってしまいました。しかし、しっ

かりと内陣を組んで、繩村に勝つと声をか

けて、反げきをしました。そして、同点に追

いついてその後、点差をとって逃げさるこ

ができました。この試合であきらめてはいけ

ないというところが改めてわかりました。久米

鳥戦。なかなかきんこつを破れずに、ぼくのホームランで先制して、勝つと思ひ油断してしまい逆転負けしました。とても心残りがあります。野球教室では、走塁は、あまりできこいなかっ。たと思つたので、これから高校に向けてがんばりたいと思ひます。守備面では、と、てから早くという動作を練習したいと思ひます。そして、パワープозиションを忘れなようにしたいです。習ったことを活かしていきないです。さよならパイパーでは、色

鳥島市立中学校

々なチームの選手と話をしました。野球の二つをめんと向かっ。て話ができたのでよかっ。たです。これから、この離島甲子園で色々なことを経験して、学ぶことができました。とてもいい思い出になりました。

離島甲子園を終えて

阿比留 基

先日の八月十九、二十、二十一日に愛媛県の上島で全国離島甲子園が行われました。

ぼくは、対馬ヤマネコボーイズとしてプレイしました。大会当日、開会式に多くのチームが集まりました。そこで自分が最も驚いたのが礼義の良さです。自分があいさつをする相手も元気のいい気持ちいいあいさつを返してくれました。いろんなチームの試合を見て

いるとやっぱり礼義がしっかりできているところは、強かったです。そして、試合終了時のあいさつでも勝った方、負けた方、両チームともお互いの健闘をたたえ合って言葉をかけ合うという所に一つ絆を深めることができたと思います。対馬に帰ったら一番に礼義がしっかりできているチームは強いという事を教えたんです。ぼくたちのチームは、準々決勝で久米島に負け、ベスト子でしたが、一人一人が全力でプレイしきったので悔いはあ

りません。ぼくはこの離島甲子園に出場でき
て本当に良かったです。この大会を開催する
はあたり、村田兆治さんをはじめ、大会関係
者のみなさんには本当に感謝しています。
特に、まさかりドリムスのみなさんには、
雨が降っている中でも体育館で野球教室を開
いて下さりありがとうございました。おかげ
で野球が上達したような気がします。ぼく
は高校で野球をしようと思います。本当にあ
りがとうございました。とてもいい思い出に

なりました。

離島甲士園を終えて

御手洗 祐一郎

ぼくはこの大会を通して強く思ったことがあります。

「試合に出たい!! 打ちたい!! 投げたい!!」
ぼくは補欠だったので、試合に出られるよう腹から声を出しました。コーチャーのときもランナーが安心できるように、リードの声を腹から出しました。しかし、試合に出ること

は出来ませんでした。

来年からぼくは高校生になります。二度とこんなくやしい思いはしないよう、一年生からレギュラーがとれるよう、今日起る練習から全カプレーをし、長崎県大会優勝を目標に、

「一生懸命、全力疾走、腹から声を出す」
で、元気を出して頑張っていきたいです。

この全国離島交流中学生野球大会があったおかげで忘れぬいた。試合に出たいという気

持ちかとも高まりました。全国離島交流中
学生野球大会を開いてくださりありがとうご
さいました。この経験を生かして野球を続け
ていきたいです。

離島甲子園での感想

村馬 一宮 智哉

ぼくは、八月十八日から二十二日まで、上島に野球大会に行ってきました。抽選会では、レモンを抽選権としていました。岩城島は、レモンが有名だったそうです。とっても、大きく実ったレモンでした。一回戦は、東京都の伊豆大島と対戦することになりました。一打席目には、センターの頭を越えるホームランを打つことができました。二、三打席目

でもレフトを打つことができ、うれしかったです。でも、守備で、エラーをして、一つ一つの大事ないかないといかなりのに、気づきました。屋久島では、ノースピットでも、チームが勝つことができたので、よかったです。又米島では、自分がランナーになることができなく、とてもチームに迷惑をかけてしまっています。試合が終わって、優勝したか、たなあったと思います。でも、とっても、気持ち晴れ、悔しい気持ちはあ

るけど、精一杯やっただ自信だけはあります。
最終日は、野球教室で、内野手は、バトーボ
ジニョレが大切だということを知り、バツテ
ここの基本、捕る基本、走り方と、プロの人
は、とても、すごく、目標になりました。こ
れからも、離島甲子園の出場選手や、全国の
野球球児に、負けないうように努力し、負けた
悔しさを忘れず、一生懸命、努力したりです。

「離島甲子園の思い出」

中山 駿

ぼくは、離島甲子園を楽しみにしていました。ほかの強いチームと戦えるのを楽しみにしてました。一回戦の相手は、伊豆大島です。よく粘りのあるチームでした。その最後まであきらめない気持ちにはみならずわなないといけな
いと思いました。ぼくのピッチングは、コン
トロールが悪く5回一失点でマウンドを降り
ました。くやしかったです。なぜならエース

なのに、自覚が足りなかったです。次の
屋久島との試合は、ぼくは、ヤンチでした。
でもいつでも出られるように準備してました
すると最終回に出番がきました。ノーアウト
トリーアップの場面ぼくは、レフト前ヒットを打
ちました。すごくうれしかったです。そのま
まにげきり勝ちすることができました。次の日相
手は、エースの具志堅投手をじくにまつまり
のあるチームです。ぼくは、投手かかぎにな
ると考えてました。せんぱつは、ぼくの大親

評してしまいました。するとヤンチがぼくを
代えることにしたのです。でも、ぼくは、な
つとく行きませんでした。でも、野球はチー
ムアレイなのでおとなしくレフトのポテイシ
ョンにフきました。ここから悪夢が初まりま
した。なんと、ぼくの頭の上にライナ「かぬ
けてあつと、う間にひつくり返されました。
くやしかったです。そのまま識合は、おわつ
てしまいました。負けたのがうそのように、
みんなは、そんな表いようをしていました。

友の春田ごうきです。こいつならかんぷうし
てくれると思。てました。でも、2回し^やうり
まうじに「肘が痛い」とつぶかきました。そ
れでぼくと投手交代しました。そのときは、
昨日以上に調子が悪く大丈夫かな?と、しんば
いしてました。でも、タイミンクがあわずそ
のままも回まで遊みました。すると僕たちの
キャプテンかホームランを打ちました。ぼく
は、かつたと思ひました。ワ回表一人のバ
ッターも打ち取ると次のバツターにヒツトを

くやししいけど、みんなで高校で頑張ると決意
しました。ここから幸せな話です。

あの村田兆治さんに野球をなぐりました。

村田さんのおかげで、まえよりもスピード

はまりました。コンテロールもよくなりました。

本当にありがとうございました。

離島交流大会を終えて

春田剛希

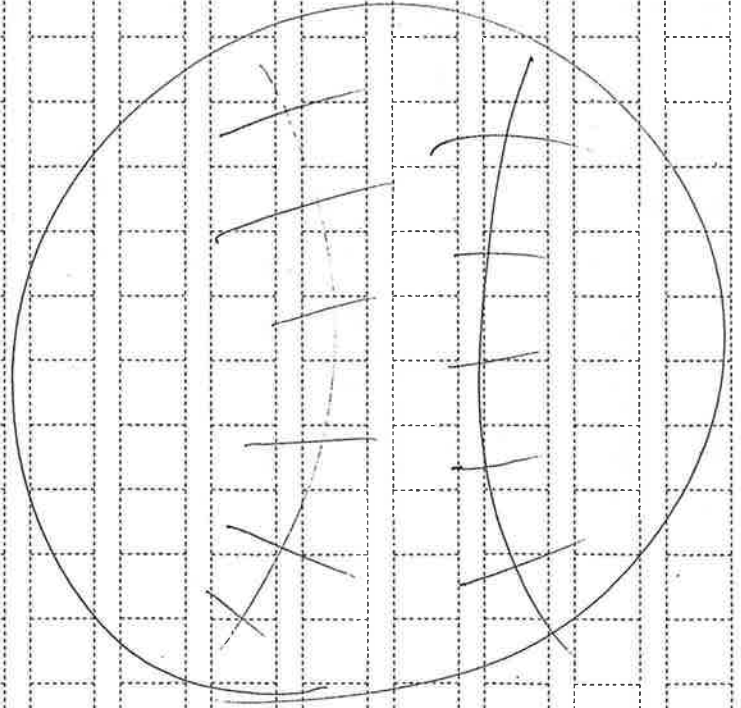
ぼくはこの大会に初参加ですごくおもしろ
かったです。結果は久米島に負けましたがい
その久米島の子たちと仲良くなれました、他の
島の子たちとも仲良くなれたのでよかったです。
す。ぼくは村馬選抜として出場するこの大会
が中学最後の大会、そして試合になりました。
。最後は自分のチームで終われたからです。
が、この大会を終えてみると、このチームで

終えてよかったですなと思いました。

また、この大会後の野球教室はとても勉強に
なりました。プロの方に教わるのは始めてだ
ったのでいい経験ができました。

たくさん村馬選抜が戦った相手は伊戸大島、
屋久島、久米島とテレビなどでしか聞いたこ
とがない島の子たちと野球で触れあえたので
とてもよかったです。そして、この大会を主
催、協賛、後援、特別協力、協力してくれた
方々、まさかりドリームスの皆さん、今まで

支えてくださっ
た方々、
監督やコ
ーチに感
謝
を
し
た
い
で
す。



離島甲子園

水本

春毅

一回戦は、4対3で勝つことができました。

僕は、途中からできました。一打席目は三振で

した。まっしろボールが見えませんでした。

インアウトの打てなかつた。二打席目

は、フーボールでした。

二回戦は、特別延長にまでなりましたが、勝つ

事ができました。僕は、先発で投げました。

まともなピッチはうたれませんでした。でも

四球、死球が5個以上ありました。四球や

エラーで出したら、エラーは1点にすぎなかり

け方いいことをし、いい投げで出してしまっ

三回戦は、2-1で負けました。僕はとら

うから投げました。三人投げました。しっ

かりがたまりました。

優勝あることが、できなして、とても、し

かしいであか、自分か、ていふ力は出さ

りませんでした。このけいけんも、忘れがた

この生活にいかしていきたいです。

離島甲子園

まさかりトリムスのみなさんのご指導のおかげのことにたして僕達が納得するまで徹底して教えてくださり、対馬に帰ってきてからも教えてくださったことを実践できました。

離島甲子園での大会が始まってまわりの中学生がノックアウトなど同じ同級生が偉業を達成してすごく刺激になってとても楽しかったです。

ほくは大会の始めの方はほくは人見知りなので他の人と交流することができなからたけど大会で試合を重ねるごとに他校の人と交流することもできました。

これからもどの場面やどんな時にも知らない人との会話を大事にし離島甲子園で見つけたコミュニケーションをどのような場面でも活用して友達を増やしていきたいです。

対馬ヤマネゴボーイズ 背番号11

木村幸太

離島交流を終えて・中村祐太

● ぼくたちは対馬の代表として愛媛県上島町に行きました。

違う学校の生徒達と共に向かっていたけどすぐに仲良くなれたので、良かったです。

試合の前に交流を深めて試合に望めて良かったと思います。民宿での生活はまたなくて嫌だったけど楽しかったので良かったです。

そして試合は、まず第一試合目は伊豆大島と戦って4対3と言うギリギリの試合をしてしまって内容は少し複雑な内容でした。

次の第二試合目もギリギリでやっと8対5で勝ってうれしかったです。

次の日の夕米島とは最後に逆転されて2対1になってとても苦しかったし、残念でした。

この敗北で学んだことは勝ったと思っても決して気をゆるめずに集中することだと思いました。

この離島交流では自分を成長させるいい機会だったなと思いました。

中学校では、もう野球は終わったけど

高校でも、続けられたら続けたいと思っています。

中学校最後のこの大会はとても、良かったです。